

平成28年度第1回 国土交通省東京航空局 入札監視委員会  
審議概要

開催日及び場所	平成28年6月17日(金) 霞が関合同庁舎3号館1階 共用会議室	
委員	委員長 浅野 正一郎(国立情報学研究所名誉教授) 委員 廣渡 鉄(弁護士) 委員 高田 和幸(東京電機大学教授)	
審査対象期間	平成27年10月1日～平成28年3月31日	
抽出案件	総件数3件	
1. 工 事	一般競争入札方式(総合評価方式)	1件
2. 建設コンサルタント業務等	不落札随意契約	1件
3. 物品の製造	不落札随意契約(政府調達対象)	1件
各委員からの意見・質問、それに対する東京航空局の回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数者応札に向けての検討。</li> <li>・工種ごとの発注方式への検討。</li> </ul>	

審議概要

意見・質問	回答
<p>1. 工事（一般競争入札方式／総合評価） 東京国際空港A滑走路等舗装補修工事</p>	
<p>○舗装工事のほか、複数の工種を組み合わせている理由は如何。</p> <p>○受注者は競争参加資格の工種以外の事業に 与しているのか。</p> <p>○総合評価で施工体制評価型の加点方法が当 局の実績のみとなっている理由</p>	<p>○単一工種の工事として公告行うも入札参加 者がなかったことから、工事内容を見直し舗 装等を含めた複数工種の組み合わせ工事とし た。</p> <p>○監理技術者としてマネジメントを行っている。</p> <p>○空港内の特殊性、成績評定データベースの 状況に応じてガイドラインにより設定。当局 の実績が少数の場合は、品質確保を勘案した 上で実績範囲の拡大も検討している。</p>

審議概要

意見・質問	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等（不落札随意契約） 東京国際空港際内トンネル付帯設備検討業務</p>	
<p>○不落札時の見積もり合わせの移行方法及び見積もり合わせを行ってもなお落札者がいない場合の処理は如何。</p> <p>○本件が1者応札となった要因は如何</p> <p>○競争参加資格を建設コンサルタントに限定している理由は。設備専門の事業者は参加できないのか。</p> <p>○本体と付帯設備を一体に発注したほうが、入札参加者が増えるのではないか。</p>	<p>○不落札の見積もり合わせは、やむを得ない場合のみ入札者に確認を行った上で移行している。また、見積もり合わせは入札者が落札するか又は辞退するまで行うこととしている。</p> <p>○入札説明書を配布した業者に後日確認したところ、技術者の確保等事業者の都合によるものであった。</p> <p>○競争参加資格の建設コンサルタントは、資格登録時に事業者が実施可能な事業を登録しているもの。設備事業者であっても要件を満たし建設コンサルタントに登録を行えば参加は可能と思料。</p> <p>○本体は整備局、付帯設備は当局と分担しているため、付帯設備のみの発注となった。</p>

審議概要

意見・質問	回答
<p>3. 物品の製造等（不落札随意契約／政府調達対象） 東京国際空港発電装置1式の製造</p>	
<p>○不落随意契約の結果は公表されているのか。</p> <p>○参加者が1者とわかっている不落札随意契約は、高い落札率を生むことになるのでは。</p> <p>○本製造において、入札に参加が可能な者は複数者想定しているのか</p> <p>○本製造は技術的な難易度が高く、複数者が参加できないということはないか。</p>	<p>○当局のホームページで公表している。</p> <p>○開札は電子と紙入札を併用で行っているため、1者であるとは参加者はわからない。また、不落札随意契約は入札を行っても予定価格に達しないものが移行しているため、高めの落札率になると思料。</p> <p>○競争参加資格を満たす想定業者は複数あることを公告前に確認済み。</p> <p>○入札説明書配布者に後日確認したところ、技術的な部分ではなかったことを確認。製造物は非常に大きなものであり、それなりの製造ラインが必要となることから、設備の規模や使用計画等を勘案すると多数の参加者は見込めないものと認識。</p>